MES-CG18-263-10

＊＊２０２４年１１月（第６版）
＊２０２３年１２月（第５版）

製造販売届出番号：13B1X00306N10327

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　汎用電動式手術台　　(36867020)

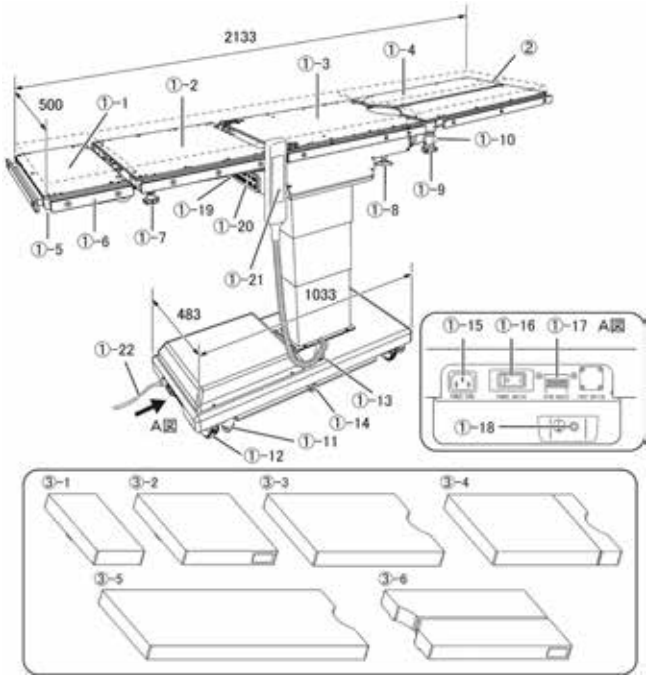
特定保守管理医療機器

手術台　ＭＯＴ－ＶＥ１００Ｄｊ

＊＊【警告】
＜使用方法＞
１．患者の任意の体位を確保するためにテーブルトップを作動させる又は患者をアクセサリーで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
２．他社製アクセサリー等を取り付けて使用するときは、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール又は差込孔寸法が異なると装着できません。]

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
１．手術台の移動及び設置
1-1 凹凸のある床面に設置しないこと。
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれないこと。［転倒又はけがをするおそれがあります。］
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除しないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
1-4 着脱可能箇所（【形状・構造及び原理等】６．機能を参照）を引いて手術台を移動しないこと。[落下して破損又はけがをするおそれがあります。]
２．電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]
３．テーブルトップの手動操作部
3-1 頭部板や脚板の上に乗ったり座ったりしないこと。[転倒又は破損するおそれがあります。]
3-2 患者を手術台から移し替えるとき、又は患者の体位を変えるときは、頭部板又は脚板に無理な力を加えないこと。［頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。］
４．手術台に患者を乗せるとき
4-1 患者逆乗せ対応のアクセサリーを装着して頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せる場合は、135 kgを超える患者を乗せないこと。［患者が転落するおそれがあります。］
4-2 通常のダブル脚板装着時は頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せないこと。[頭部板又は脚板が破損するおそれがあります。]

＊＊【形状・構造及び原理等】
１．外観図
①手術台　②付属品　③オプション　　単位：mm



①- 1	頭部板	①-13	操作ボックスコネクタ
①- 2	背板	①-14	非常用ブレーキ解除ハンドル
①- 3	腰板	①-15	電源コネクタ
①- 4	脚板	①-16	電源スイッチ
①- 5	頭部板屈折レバー	①-17	バッテリーインジケータ
①- 6	サイドレール	①-18	等電位化端子
①- 7	頭部板固定ハンドル	①-19	緊急停止スイッチ
①- 8	脚板着脱ハンドル	①-20	予備スイッチ
①- 9	脚板固定ハンドル	①-21	操作ボックス
①-10	脚板屈折レバー	①-22	電源コード
①-11	ブレーキ	②	マットレス
①-12	キャスター	③-1~6	マットレス

注１：番号は**１．外観図**の番号に対応
注２：テーブルトップとは①-1～4 の総称
注３：ベースとは①-13 を含む基台

取扱説明書を必ずご参照ください。

商品コード	商品名	構成
18-263-10	ＭＯＴ－ＶＥ１００Ｄｊ	①、②
18-045-01	電源コード１.(4.5m)	①-22
18-042-01	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス 頭部板　タイプＡ	③-1
18-042-11	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス　背板　タイプＡ	③-2
18-042-22	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス　腰板　タイプＡ	③-3
18-042-23	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス　腰板　タイプＢ	③-4
18-042-42	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス 背板・腰板　タイプＡ	③-5
18-042-53	ミズホオリジナル難燃・防水性マットレス ダブル脚板　タイプＢ	③-6

２．質量

本体：360 kg

３．電気的定格

定格電源電圧　　：AC100-240V
定格電源周波数　　：50/60Hz
消費電力　　：400VA
バッテリー電源電圧　　：DC24V
バッテリー充電時間　　：最長 17 時間（注）
注：使用条件により変わります。

４．機器の分類(JIS T 0601-1:2023)

電撃に対する保護の形式による分類：クラスＩ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度の分類：ＩＰＸ４
本機はＥＭＣ規格 JIS T 0601-1-2:2023 に適合

５．使用環境

周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30%～75%
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

６．機能

電動

① 昇降範囲	最高位	：	1090 ㎜
	最低位	：	635 ㎜
② 縦転角度	頭上がり	：	30 °
	頭下がり	：	30 °
③ 横転角度	左下がり	：	20 °
	右下がり	：	20 °
④ 背板屈折角度	上がり	：	90 °
	下がり	：	40 °
⑤ フレックス	フレックス／リフレックス		
⑥ 自動水平復帰	縦転／横転／背板屈折／フレックス		
⑦ ブレーキ	固定／解除		
⑧ 操作機器	操作ボックス／予備スイッチ／緊急停止スイッチ		

手動

① 頭部板屈折角度	上がり	：	60 °
	下がり	：	90 °
② 脚板屈折角度	上がり	：	0 °
	下がり	：	90 °
③ 脚板展開角度	左右各	：	90 °
④ 着脱可能箇所	頭部板／脚板（左右）		
⑤ その他の手動機能	非常用ブレーキ解除ハンドル		

７．作動原理

本機は電動油圧手術台であり、電気的に制御するポンプモーター・バルブ及びシリンダー・オイルタンク等の油圧機器で構成されています。
操作ボックスを操作するとポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油がバルブを介してシリンダーへ送られます。シリンダーへ送られた作動油の圧力によりシリンダーが伸縮し、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動することで、手術台の機能が作動します。
シリンダーの作動が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動は停止します。

＊＊【使用目的又は効果】

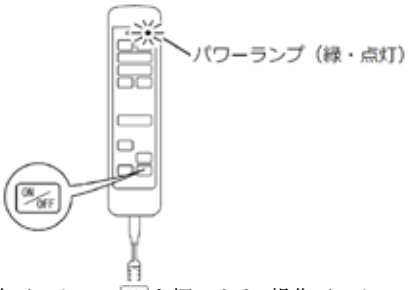
手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）をいいます。コンセント電源式・電池電源式の併用式のものです。

＊＊＊【使用方法等】

詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

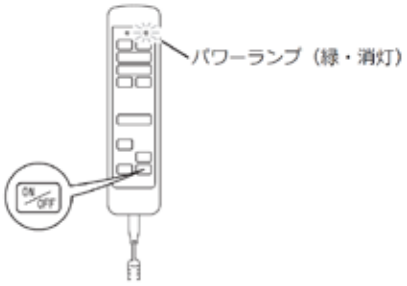
１．電源の入れ方（使用前：医用コンセントの電源で使用する場合）

1-1 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込み、ベースの電源スイッチを ON（｜）にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが点灯します。



1-2 操作ボックスの[ON/OFF]を押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が点灯して電源が入ります。

２．電源の切り方（使用後：医用コンセントの電源で使用する場合）

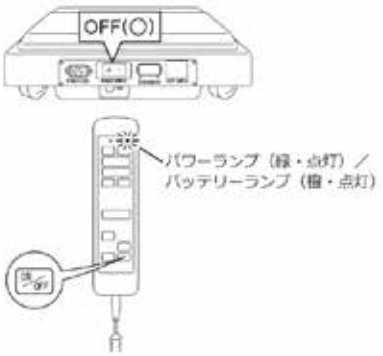


2-1 電源が入っている状態で、操作ボックスの[ON/OFF]を押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が消灯します。

2-2 ベースの電源スイッチを OFF（○）にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが消灯して電源が切れます。

取扱説明書を必ずご参照ください。

３．電源の入れ方（使用前：バッテリー電源で使用する場合）



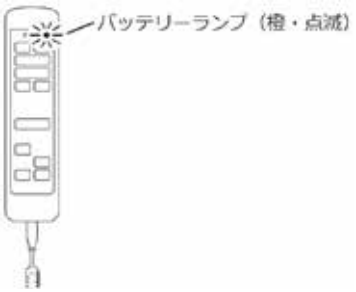
電源コネクタに電源コードが接続されていない、又はベースの電源スイッチが OFF（○）の状態で、操作ボックスの ON/OFF を押します。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が点灯して電源が入ります。

注：消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、操作ボックスの ON/OFF を押して電源を入れてください。

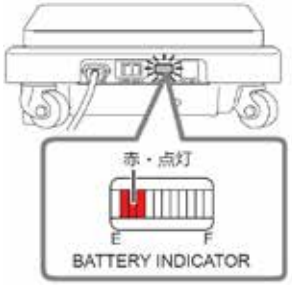
４．電源の切り方（使用後：バッテリー電源で使用する場合）

ベースの電源スイッチが OFF（○）の状態で、操作ボックスの ON/OFF を押します。パワーランプ（緑）とバッテリーランプ（橙）が消灯して電源が切れます。

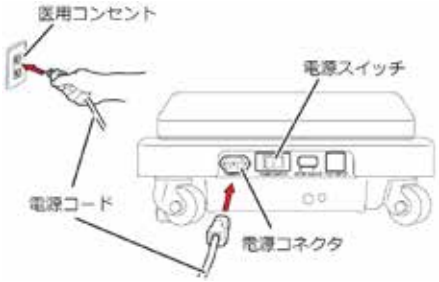
５．バッテリー充電のしかた



5-1 バッテリーランプを確認します。操作ボックスのバッテリーランプ（橙）が点滅したら充電が必要です。

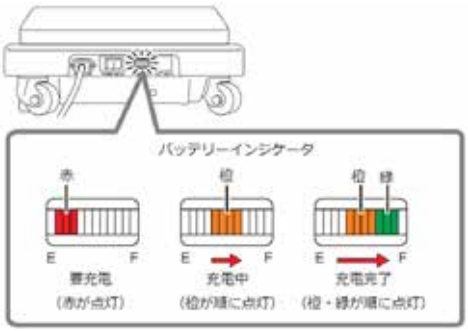


5-2 バッテリーインジケータの赤が点灯したら充電が必要です。



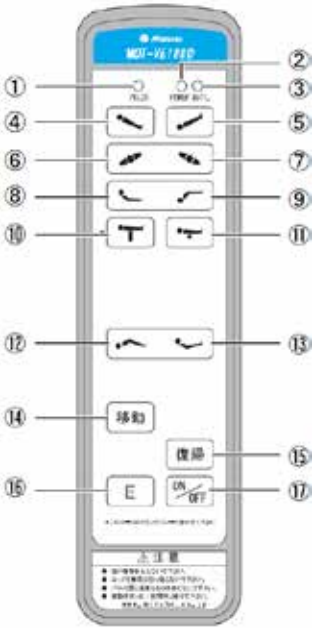
5-3 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込みます。

5-4 電源スイッチを入れると充電が始まります。充電中はバッテリーインジケータの橙が順に点灯します。



5-5 バッテリーインジケータの橙と緑が順に点灯すると充電は完了です。

６．操作ボックスの使い方（使用中）



① パイロットランプ
② パワーランプ
③ バッテリーランプ
④ 縦転：頭上がり
⑤ 縦転：頭下がり
⑥ 横転：左下がり
⑦ 横転：右下がり
⑧ 背板屈折：上がり
⑨ 背板屈折：下がり
⑩ 昇降：上昇（手術台固定）
⑪ 昇降：下降
⑫ フレックス
⑬ リフレックス
⑭ ブレーキ解除
⑮ 水平復帰
⑯ Ｅスイッチ
⑰ 電源 ON/OFF スイッチ

E を押すと、パイロットランプが点灯します。ランプが点灯している間に機能スイッチを押すと、スイッチを押している間その機能が作動します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

＊＊**【使用上の注意】**
＊
詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

重要な基本的注意

1. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に傷害がおきるおそれがあります。

取扱説明書を必ずご参照ください。

2. 他の機器やアクセサリーを併用するときは、当該機器の注意事項等情報及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用方法は患者･操作者及び手術台･併用する機器やアクセサリーに悪影響を及ぼします。
3. 衛生のため、患者が触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。
4. 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。
5. 手術台の操作中や屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。
6. 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で手術台を作動させないでください。転倒・けがのおそれがあります。
7. 非常用ブレーキ解除ハンドルを UNLOCK から LOCK に戻したら、ブレーキ解除操作をしてください。ブレーキ解除操作をせずに手術台を作動させると、ブレーキが解除された状態で手術台が作動するため、転倒・けがのおそれがあります。
8. 操作ボックスのバッテリーランプが点滅している場合、又は手術台下部のバッテリーインジケータの赤が点灯している場合は、直ちに充電してください。

   充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリーでのご使用はできなくなります。
9. 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週１回充電（週末の充電）を行ってください。

   充電満了まで最長で 17 時間程度かかります。
10. 患者逆乗せ対応のアクセサリーを装着して頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せる場合は、横転、縦転は操作ボックスのスイッチと逆方向に作動します。また背板屈折は患者の脚側の板が上下に作動します。操作者は手術前に必ず各スイッチとその作動方向を確認してください。確認せずに操作を行うと予期せぬ作動で患者がけがをするおそれがあります。
11. 患者逆乗せ対応のアクセサリーを装着して頭部側と脚部側を逆にして患者を乗せる場合は、フレックス、リフレックスは行わないでください。屈折位置が通常と異なるため患者に予期せぬ負荷がかかり、けがをするおそれがあります。

＊【保管方法及び有効期間等】

１．保管方法

周囲温度範囲：－10℃～50℃
相対湿度範囲：10%～85%（結露なし）
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

２．耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：１０年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

＊＊【保守・点検に係る事項】
＊

＜使用者による保守点検事項＞

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず清掃・消毒を実施してください。詳細な点検事項は、取扱説明書をご参照ください。

１．使用前の点検事項

1-1 マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
1-2 テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損がないか。
1-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。
1-4 電源コード及びプラグ
導線の露出又はプラグの破損がないか。
1-5 バッテリー
バッテリーが充電されているか。
1-6 緊急停止スイッチ
緊急停止スイッチが正常に作動するか。
1-7 操作ボックス及び予備スイッチ
・操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押して、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。
・操作ボックスの機能スイッチ及び予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。
1-8 テーブルトップのガタ
背板両側を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

２．使用後の点検事項

2-1 マットレス
すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。
2-2 テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損又は汚れがないか。
2-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。

３．清掃・消毒の手順

3-1　電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
3-2　使用する消毒液の表示又は説明書の内容を確認してください。
3-3　血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。

４．故障時のお願い

本機が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。
4-1　電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
4-2　本機に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

＜業者による保守点検事項＞

本機を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年１回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

＜定期交換部品＞

部品名	交換時期（注）
バッテリー	２年
操作ボックス	４～６年
キャスター	５～７年
ブレーキゴム	３～５年
電源コード	５～７年

注：上記は目安の期間です。
使用条件により交換時期が変わります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097
製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

保証期間に係る事項

本機は納品/設置してから１年間を保証期間として無償修理いたします。但し、第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。